

9月県議会

新型コロナインフルエンザ

同時検査体制の整備を求める

被災者の医療費免除措置の継続を



本会議で一般質問に立つ斉藤県議(10月8日)

インフルエンザの流行期を前に、新型コロナとの同時検査を身近なかかりつけ医などで実施できる体制の整備を求めました。県は、県医師会と協力して200を超え、診療機関で同時検査体制を整備するとしています。

医療機関の減収問題では、県立病院は8月末までに前年同月比約18億3千万円の減収となっており、達増知事は「知事会の緊急提言等で全ての医療機関への財政支援を求めている」と答弁しました。保健所体制の抜本的強化では、超過勤務が前年比で約3割増加して

9月定例県議会が9月29日から10月27日まで開かれ、斉藤県議が一般質問に立つとともに、3人の日本共産党県議団が県民から寄せられた切実な要求の実現に全力で取り組みました。

新型コロナウイルス対策

おり、達増知事は「退職保健師12人を配置し、来年度の保健師採用人数の拡充に取り組む」と答弁しました。新型コロナウイルスによる事業者への影響調査(9月分)では「41%以上の売り上げ減少」が全体の28%ですが、業種別では宿泊業で65%、飲食業で47%などと深刻な状況となっています。全事業者が対象の感染症対策費補助(10万円)や、9千件が対象の家賃補助などが、あたりに事業者の皆さんに行き渡るよう改善を求めました。

雇用対策では、雇用調整助成金や休業支援金の積極的な活用を要求。

核兵器禁止条約の批准を求める意見書を採択 少人数学級の早期実現を求める請願・意見書も採択

また、生活困窮者のための生活福祉資金緊急小口資金や住居確保給付金制度の継続と徹底を求めました。

東日本大震災津波からの復興

切実な課題となっている被災者の医療費免除の継続について達増知事は「被災者の適切な医療の確保は重要。支援のあり方について引き続き市町村と調整を図っていく」と答弁。被災者における非課税世帯の割合は56.3%(国保42.2%、後期高齢者医療7%)を占めており、高齢化や生活苦の中で支援が必要な被災者に免除措置が継続されるよう強く求めました。

来年1月ー核兵器禁止条約発効へ

10月13日の本会議で2度目となる「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」を採択しました(自民党・公明党が反対)。10月24日に、批准国が条約の発効に必要な50カ国に到達し、核兵器禁止条約が来年1

～12月定例県議会傍聴のご案内～

12月3日:千田美津子県議が一般質問
(3人目の登壇 午後4時ごろ)

- 11月25日/県議会開会
- 12月1～3日/本会議・一般質問
- 12月4日/各常任委員会
- 12月8日/最終本会議

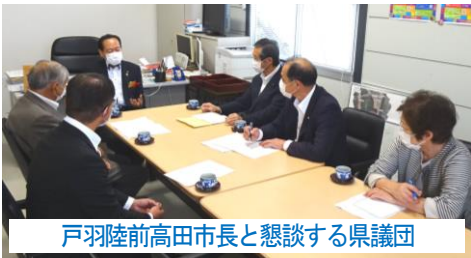
ご意見・ご要望お気軽にお寄せください

陸前高田市のコロナ対策と復興の課題を調査

10月1日、新型コロナ対策と復興の課題で戸羽陸前高田市長と懇談しました。

新型コロナ対策で陸前高田市は県内でいち早く事業者支援に取り組んできました。戸羽市長は「職員に対し事業者の生の声を聞くよう指示し、ゴールデンウィーク前に『中小企業緊急経済支援金』(正社員10人未満の事業者に20万円、10人以上には30万円の補助)を決めた」と述べました。その後も、10%以上の減収の事業者と同額の補助を行う「持続化支援金」や農林水産業への独自支援を実施。いずれも申請は簡素にし、スピード感をもって支給されています。戸羽市長は「行政と事業者の距離が近いことがこの間の取り組みの土台となっている」と話されました。

復興の課題では、被災者の医療費免除の継続について「この間、達増知事や副知事とも懇談し、被災自治体と話し合いをしている」と話されました。また、大震災から10周年を迎える来年3月11日に、国営追悼施設を活用した追悼式を検討していると話されました。



戸羽陸前高田市長と懇談する県議団

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2020年11月 No. 172

発行:日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

月に発効することになりました。また、コロナ禍のもとで「安全・安心で、行き届いた教育実現につながる少人数学級」の実現を求める請願と意見書も公明党が反対しましたが採択されました(盛岡選挙区選出県議の賛否一覽は裏面に掲載)。



記者会見で核兵器禁止条約を日本政府も批准しよう訴えるヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会の皆さん(10月26日)

斉藤信のホームページ

http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/

野党合同街頭演説を開催



10月31日、盛岡駅前前で県内3野党による合同街頭演説を開催。立憲民主党の木戸口英司・横沢高徳両参院議員(野党統一)、社民党の小西和子県議、日本共産党からは齊藤県議が訴えました。

高すぎる国保税は引き下げを

国民健康保険税は、中小企業の労働者が加入する協会けんぽと比べて2倍も高く、格差を是正することが国の責任であり、県・市町村においてもこの立場で高すぎる国保税の引き下げに取り組むべきと求めました。また、全国知事会も提言している子どもの均等割りの減免に取り組むよう求めました。国保税の値上げを抑えるために一般会計から繰り入れを実施した市町村は8市町村で1億7千万円となっています。

介護保険 20年—保険あって介護なし

介護保険制度が2000年に開始されてから20年が経過しました。現状は介護保険料の県平均額が2868円から5955円と2.07倍に上昇する一方、介護サービスは連続的に削減されてきました。「保険あって介護なし」の状況に介護保険制度が変質していると厳しく指摘し、介護保険制度の抜本的改革を国に求めるよう求めました。

安倍政権下の2度にわたる消費税増税の負担増は、県民一人当たり7万9千円、一世帯当たり17万8千円、県民総負担額は年間約958億2千万円に及びます。コロナ禍の下、消費税の減税こそ必要と提起しました。

安倍政権下2度の増税で
県民総負担は958億円増

県立遠野病院の超過勤務手当未払い問題を追及



決算特別委員会で質疑に立つ齊藤県議(10月20日)

院ではみんな超勤をつけていないので、空気を読んでつけなかった」「昨年は書けない雰囲気だった」との声が約4割の看護師から出されています。しかし県医療局は、こうした異常な事態が起こり、2424万円余の超過勤務未払の支給に追い込まれたにも

県立遠野病院における看護師の超過勤務手当未払問題は、釜石労働基準監督署への訴えに基づいて指導を受け調査した結果、看護師88人中87人に超過勤務手当の未払いが明らかになりました。その実態は、総額2424万円余、一人当たり平均27万8千円余で、最高額は142万円余、年間100時間以上の未払いが45人に及びます。総看護師長が赴任してから、超過勤務の申請が月一人当たり9時間から2時間に激減し、昨年度は事件が発覚する直前の12月末まではわずか0.4時間という異常な状況でした。

看護師88人中87人に2424万円余の未払い 県立病院看護師の抜本的な増員を求める

かかわらず、責任が明らかでない総看護師長を「訓告処分」にとどめ、誰も責任をとらない対応を厳しく批判。未払いとなった関係職員に対し謝罪するよう求めました。県立病院等の経営計画では、計



文教委員会で質疑に立つ齊藤県議(10月9日)

教師による暴言・暴力、パワハラ 盛岡南・不来方高校の統合は住民合意が大前提

県立不来方高校バレー部員の自死事件について、第三者委員会の調査報告書を踏まえ、自死の要因、県教委と学校の対応の問題点を調査した。また、盛岡市内の中学校の陸上部顧問による異常なパワハラにより、将来性ある生徒が退部し、大きな精神的打撃を受けた事件について、厳正な処分を求めることにも、顧問・教師による暴言・暴力、パワハラの根絶の徹底を図るよう求めました。高校再編計画後期計画案での盛岡南高校と不来方高校の統合計画は、事実上盛岡南高校の学級減と吸収合併ではないか、同窓生等の要望への対応、地域住民の理解と納得を得ることを前提に慎重に検討すべきと質しました。10月24日には「盛岡南高校の存続を願う会 決起集会」が開催され、齊藤県議も参加しました。

面30人の増員に対し41人の増員となりましたが、増員計画そのものが少なすぎるという問題があります。月8日超の夜勤は、昨年度1157人(前年比450人増)、中央病院では346人です。一方で普通退職・中途退職者が85人も出ており、大幅な増員と労働条件の改善を求めました。

9月県議会で採択された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

案件	齊藤 信 (日本共産党)	小西和子 (社民党)	軽石義則 (希望いわて)	吉田敬子 (新政会)	高橋但馬 (新政会)	米内紘正 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	千葉絢子 (県民クラブ)	上原康樹 (無所属)
核兵器禁止条約の批准を求める意見書⇒採択	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
「少人数学級の早期実現」を求める請願・意見書⇒採択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
福祉灯油の県内全域での実施を求める請願⇒一部採択	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
3月11日を岩手県民の日にする事についての請願⇒採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税の減税を求める請願⇒不採択	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○

無料法律相談

◇弁護士が相談に応じます◇

・12月9日(水)午後6時
・1月13日(水)午後6時
予約電話番号:651-5881

無料生活相談

毎週土曜 10時~12時
場所:齊藤信事務所

- 19日 安保法制強化から5周年街頭宣伝
- 23日 県労役員と懇談
- 24日 第9回野党共闘調整会議
- 25日 盛岡市議団と懇談
- 27日 城東地区9条の会
- 29日 議連、9月県議会開会、私学協会の県政要望説明会
- 30日 一関市調査長澤茂県老健協会会長、熊谷茂社会福祉施設協会会長、宗俣秀樹県立千厩病院院長
- 1日 陸前高田市調査戸羽太市長(10月)
- 2日 旧盛短利活用期成同盟会が県総務部長要請
- 6日 8日 本会議8日に齊藤県議が一般質問
- 9日 文教委員会
- 11日 盛岡駅前日本共産党街頭演説、倉林明子副委員長、高橋ちづ子衆院議員、ふなやま由美比例東北ブロック予定候補、吉田恭子衆院1区予定候補
- 13日 議連、本会議、第10回野党共闘調整会議
- 14日 23日 決算特別委員会
- 24日 復興特別委員会、庁内保育所見学
- 26日 復興特別委員会、庁内保育所見学
- 27日 議連、最終本会議
- 28日 県戦没者追悼式
- 31日 湯沢団地のつどい、野党合同街頭演説盛岡駅前
- 11月
- 2日 第11回野党共闘調整会議
- 4日 復興特別委員会現地調査山田町、大槌町
- 5日 森林林業政策研究会現地研修、会原林業研究センター、花巻木質バイオマス発電所
- 8日 7日 県原水協第3回理事会
- 8日 古賀茂明講演会、岩手地域総研、城東9条の会

齊藤信のパワフル活動日誌